

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	若い力で日本一のぶどうづくり事業
事業主体 (連絡先)	公益財団法人生坂村農業公社 (TEL0263-69-3431)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト / ハード / ソフト・ハード
総事業費	723,074 円 (うち支援金: 500,000 円)

事業内容

生坂村は、巨峰を中心にぶどう栽培が盛んで、秋には観光農園や道の駅「いくさかの郷」での販売や、近隣の直売所また県内外にも出荷されてきました。本事業では、村で栽培された美味しいぶどうが、安定して提供できるように、糖度計の整備を行い、村内農家で出荷の際に共有して活用しました。また、パンフレットを作成して、村のぶどうブランドを広く、村内外、県内外へPRする取り組みを実施しました。

○糖度計整備 (1台)

○ぶどうパンフレット作成 他

アンテナショップや直売所に配置して、生坂村のぶどうブランドをPR



【9月 直売所ぶどう販売】

【目標・ねらい】

- ①ぶどうのチェック体制整備による出荷における品質向上による直売所の集客の増加
- ②PR活動による村のぶどうブランドの定着化

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

本事業を通じて、村内産の糖度が高い美味しいぶどうが提供できるようになり、「イクサカラット」ブランドのさらなる促進につながりました。

また、PR活動を通じて、多くの人に生坂村のぶどうを知っていただき、村の道の駅や直売所への集客が増加し、村内のぶどう農家の売り上げと、ぶどう農家の生産意欲の向上につながりました。

村のぶどうの魅力やぶどう栽培による農業を発信することで、就農希望者の申し込みが増加し、今後、移住、定住につながることを期待されます。

※自己評価 【A】

【理由】

ぶどう時期での、村の道の駅(直売所)を中心とした集客につながり、村のぶどうブランドを発信できました。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も、生坂村の美味しいぶどうを広く、認識していただき、生坂村のぶどうブランドのさらなる定着化を進めていきます。

また、村のぶどうの魅力やぶどう栽培による農業を発信していくことで、今後、さらなる移住、定住につながることを期待されます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある